

自治医科大学 第2期中長期目標・中期計画の概要

長期目標1

高度な医療能力を有する医師等の養成

1 教育の内容・方法について (P 7～10)

- シミュレーション教育の活用等により、臨床実習を充実させる。
- 学生の社会的対応力、チーム形成能力を向上させるための教育を充実させる。
- 医師国家試験対策に係る諸活動を充実させ、高い合格率を維持する。

2 学生の受け入れについて (P 10～11)

- 都道府県と密接な連携をとりつつ、建学の精神にふさわしい高い能力と適性を有する学生を確保する。
- 医学部の各都道府県入学定員枠について、新たな配分の考え方にに基づき適正に管理する。

3 学生生活について (P 21～23)

- 学習に専念できるよう経済的に支援する。
- 新医学部学生寮を全人的教育を行う「場」として機能させる。
- 心身、特に心の問題を抱えた学生に対し適切な支援を行う。

4 附属病院 (P 28～31) 附属さいたま医療センター (P 31～34)

- 高度な医療を提供する医療機関としての役割を果たす。
- 学生が学ぶ環境、充実した卒後臨床研修の場を提供する。

5 施設・設備について (P 17～18、29)

- 大学リニューアル基本構想に基づき、大学医学部教育研究ゾーンのリニューアル並びに教育・研究棟整備を行う。
- 新医学部学生寮の建設を推進する。
- 附属病院外来・中央施設部門リニューアル基本計画に基づき、高度化、多様化する医療への対応を図る。

長期目標 2

地域医療の確保及び向上に貢献

1 医学部卒業生の活動について (P 2 5)

- 円滑に義務が履行できるよう、各都道府県等と連携し、卒業生に対する個別指導・情報提供を積極的に行う。
- 義務年限終了卒業生に対する支援・協力方策等の充実を図り、地元定着率をさらに向上させる。

2 地域医療の充実強化策について (P 2 5～2 6)

- 医師派遣制度を強化し、地域のニーズにこたえられる地域医療支援体制の充実に努める。

3 地域医療白書について (P 2 6)

- 地域医療の充実に向けた提言を行うため、地域医療白書第3号を刊行する。

4 社会貢献について (P 1 9～2 1)

- 地域医療等に関する教育・研究の成果を適切に情報発信し、地域の保健・医療・福祉の向上に貢献する。

長期目標 3

医学及び看護学の進歩、人類の福祉に貢献

1 研究活動と研究環境について (P 1 4～1 7)

- 自治医科大学プロジェクト研究推進チームを組織し、学内外の共同研究に取り組む。
- グローバル COE プログラム等の外部研究資金を積極的に取り入れ、研究の活性化を図る。

2 国際化について (P 2 4～2 5)

- 国際化へ適切に対応できるように、教育・研究面での国際交流を推進する。